



町内会がこれからも活動を続け活性化していくために、札幌市が「札幌市未来へつなぐ町内会ささえあい条例」に基づいて行っている町内会活動の活性化や負担の軽減などにつながる施策(支援策)の実施状況をご報告いたします。

●新たな取組を進めます

1. 町内会加入促進支援・町内会活性化支援策の充実

- 町内会加入促進に関する新たな取組として、新築の共同住宅の建築主に対する加入促進の協力依頼と、関係する町内会・自治会への建築主や物件に関する情報提供をR8.2月から開始しました。
- 不動産事業者との加入促進に向けた連携強化を図るため、新たに大東建設(株)と「町内会・自治会の活性化に関する連携協定」を、R8.1.27に締結しました。引き続き協力いただく企業を増やしていきます。
- 町内会のデジタル活用に係る環境整備のため、R8.3月までに町内会向けアプリ等を提供する5つの企業と連携協定を締結しました。「電子回覧板」等に関する情報収集の負担軽減に向け、地域に対する説明や情報提供等支援の幅を広げていきます。



2. 地域への依頼事項に関する見直し

- 札幌市がん集団検診の検診とりまとめ・問診表配布等について、WEB予約システムや委託業者等へ集約・移行をR8年度後半から、段階的に進めて負担軽減を図っていきます。

回覧板で申込希望の取りまとめを依頼	⇒	札幌市がWeb予約システムやコールセンターを導入。検診希望者が直接申込。 【R8.8月(R8.10月検診分)から】 【R8年度までは回覧板申込も併用】
保健センターへ申込結果の報告を依頼		
検査キット等の各世帯への配布を依頼		

3. 自主防災活動への支援充実

- 地域が地区防災計画を作成する際の負担を軽減するため、デジタル支援ツールを活用して計画を作成する実証実験(作成演習)を実施します。

●取組を継続しています

1. 町内会加入促進支援・町内会活性化支援策の充実

- 町内会と不動産事業者との相互理解・連携を促進する「町内会と不動産事業者をつなぐささえあいハンドブック」を作成、配布しています。
- 町内会への加入促進や負担軽減につながる取組を行う不動産事業者を「さっぽろマチトモパートナー企業」として認定しています。

2. 地域に依頼している各種委員に関する見直し

- 札幌市からの依頼によって生じる地域の負担を軽減するため、下記の取組を委員ごとに検討・実施しています。
 - ・ 札幌市から依頼している各種委員の推薦会や会議の書面開催などの負担軽減策
 - ・ 担い手不足に対応するための委員の意義や活動内容を広く理解してもらうための取組
 - ・ 地域外からの委員確保策 など

3. 自主防災活動への支援充実

- 自主防災組織の防災資機材購入費用を一部補助する制度を実施しています。

4. ごみステーション管理の負担軽減

ごみステーションの管理器材購入費への助成や、ごみのトラブル解決窓口として清掃事務所が町内会等からの相談を受け、ごみパト隊が課題解決の調整役として共同住宅に対し専用ごみステーションの設置を働きかけるなど、管理の負担軽減を図っています。

5. 私設街路灯の負担軽減

- 私設街路灯の設置、撤去及び維持管理(電気代等)に対する補助を行っています。
- 市道上の私設街路灯の市への引継ぎを推進しています。
※ 過去5年実績(R3~R7):2,185灯を市へ引継ぎ

6. 市職員が町内会活動に参加・協力しやすい環境づくり

町内会の理解を深めるため新採研修や職場研修などの研修の充実や町内会活動に参加しやすい職場環境づくりを進めています。

町内会のお困りごとはまちづくりセンターを中心にご相談に応じ、関係課が協力して課題解決に努めます。お気軽にご相談を！

市民自治推進課が行っている町内会・自治会対象の主な事業について(令和7年度の実績、8年度の予定など)

町内会アドバイザー派遣制度

- 担い手不足など、町内会運営の課題解決に向けてアドバイザーを派遣します。

<R7年度実績>

(支援団体数) 19団体

(課題) 担い手不足、運営体制の見直し、
デジタル化 など

<R8年度募集予定> 7月下旬～8月下旬(14～18団体程度)

詳細はこちら↓



町内会スマホ教室

- 町内会を対象に初心者向けのスマホ教室を実施します。

<R7年度実績>

(受講団体／開催数) 38団体/45回開催(うち7回は同一団体のリピート)

(内容) スマホの基本操作、LINEの使い方、詐欺対策 等

<R8年度> 通年で募集中～3月末

町内会デジタル活用促進補助金

- デジタル化に係る備品購入、ツール導入や研修会等に関する補助金を交付します。(限度額10万円、補助率は内容による)

<R7年度交付団体数> 67団体

<R8年度> 65団体程度に支援予定

札幌市地域活動保険制度

- ボランティア活動中のケガや損害賠償責任を負った場合、一定の条件のもとに補償金の支払いを行います。

<R7年度実績>

(事故報告数／保険対象決定件数) 33件

(支払額合計) 1,613,470円

町内会デジタル化出前講座

- 講師を派遣し、町内会運営のデジタル化に向けた講座を実施します。

<R7年度実績>

(支援団体数) 26団体

(内容) LINEの使い方・情報発信の方法、町内会支援ツール 等

<R8年度募集予定> 7月上旬頃(20団体程度)+電子回覧板等説明会開催

地域連携促進事業

- まちづくりのスキル・ノウハウのあるNPOを特定のメニュー内で町内会等に派遣します。

<R7年度実績>

- 防災に関するスキルや子ども向けイベントのスキルを持つ20団体を計69の町内会等に派遣

<R8年度募集予定> 7月上旬～12月中旬

詳細はいつでも市民自治推進課(Tel.211-2253)にお問い合わせください。

札幌市健康アプリ「アルカサル」への行事等登録について

各種行事等でご活用ください

40歳以上が対象の健康アプリ「アルカサル」がR8.4開始。町内会行事をアプリに登録すると、アプリの地図上やイベントの一覧に表示され、参加のきっかけにつながります。さらに、プレゼント抽選や電子マネーに交換できるポイントがたまりやすくなります。詳細は以下か、二次元コードを読み込んでご覧ください。

【詳細】札幌健康アプリ事務局 Tel.500-9902



令和7年度に実施したご意見募集の結果について

ご協力いただきありがとうございました

328団体から延べ602件のご意見、603件の事例をいただきました。いただいたご意見は、今後の施策に生かしてまいります。概要は右の二次元コードを読み込んでご覧ください。



本資料の内容や各町内会支援策に関するご意見がございましたら、以下の方法でお聞かせください。

- ①回答フォーム(左の二次元コードを読み込んでください) / ②メール(宛先:shiminiichi@city.sapporo.jp)